

共通開講科目(一部アオッサ) 災害ボランティア論／福井大学

科目名/提供大学名	災害ボランティア論／福井大学
科目名(英文)	Introduction to Disaster Volunteer
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	後期・毎週木曜1限(8:45～10:15)福井大学文京キャンパス及び一部アオッサ開講(10/26, 11/23, 12/7 土曜3.4限(13:30～16:45))
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	講義, 演習
担当教員名	小嶋 啓介, 寺崎寛章, 水沢利栄, 磯見智恵, 粟原 知子, 木村 哲也, (非)村井雅清
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	小嶋 啓介 (k_kojima@u-fukui.ac.jp)
概要	大学・社会において身につけた専門知識等を, ボランティアに社会に提供する機会は, 今後増えることがあろう。特に災害が起きた際には, 様々な形でかかわる可能性がある。災害という特殊な環境においても, 適切な心構えのもと, 各人が専門性を発揮することができるよう, 養成する講義である。
学習・教育目標との関連	5大学開放科目であり, 各大学・学科・コースで確認のこと
授業目標・目的	21世紀の日本は, 少子高齢化が進展するなかで地震・気象災害が頻発しており, 大学・社会において身につけた専門知識等を, ボランティアに提供する機会は増えると思われる。様々な自然災害の特徴と, それらの災害を対象としたボランティアに求められる知識を身につけ, 災害という特殊な環境においても, 適切な心構えのもと, 各人が専門性を発揮できる能力を涵養する。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	この授業を受けることだけでなく, 実際のボランティアの現場に行く機会をうまく使いながら, 学ぶ気持ちを持ちながら受講することで, より内容を深く理解できるようになる。
授業計画・授業内容	<p>【2回目以降都合によりテーマ・担当教員及び順番を入れ換えることがある(ガイダンス時に連絡する)。】 教育学部・医学部・工学部・国際地域学部の教員から構成され, それぞれの専門分野でのボランティアに関わる幅広い基礎的な知識を得ることができるようになる。 <災害に関する基礎知識> ※について以下のとおり, サテライトキャンパス(AOSSA)等の会場・日程で実施予定</p> <p>第1回:(小嶋)「ガイダンスと日本の自然災害環境」 第2回:(小嶋)「地震災害と救援・復旧・復興」 第3回:(磯見)「災害時要援護者」 第4回:「ボランティア研修会(1)」※1 第5回:「ボランティア研修会(2)」※1 第6回:(磯見)「災害時のこころとケア」 第7回:(水沢)「災害時の食事」 第8回:(村井)「ボランティアとは」※2 第9回:(村井)「組織論・国内外の制度等(NPOを含む)」※2 第10回:(村井)「災害ボランティア活動時の基本的な心構えおよび法的責任」※3 第11回:(村井)「ボランティアコーディネーターの役割, ボランティアセンターの役割と機能」※3 第12回:(粟原)「災害後の子どもの心のケアと環境づくり」 第13回:(寺崎)「水害・雪害とボランティア」 第14回:(木村)「災害サイクルと疾病構造」 第15回:(木村)「災害時医療活動, 基本的心肺蘇生法, AED」</p> <p>【※会場/開講日時】 ※1: 織協ビル 801AB/10月26日(土)3, 4限目 ※2: ハピリンホール/11月23日(土)3, 4限目 ※3: AOSSA 6階 601研修室/12月7日(土)3, 4限目</p>
授業方法	講義形式で行うことを基本とするが災害看護等に関する演習も行う。 災害の事例やボランティア現場での様子をスライドで紹介するとともに, 体験談を交えながらボランティア活動に参加するときの心構えなどを理解させる。講義が中心であるが, 実習及び演習も適宜取り入れる。
キーワード	災害, ボランティア, 医療活動, ケア, 社会システム
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	参考書は適宜紹介する。以下の文献が参考になる。 参考書 柳田・黒田・大賀・村井著・似田貝編『ボランティアが社会を変える: 支えあいの実践知』看護出版
評価方法・評価基準	評価に占める演習の割合: 100% 評価に占める試験の割合: 0%(ただし, 講義中にレポートの提出を求める可能性がある。)
関連科目	災害の科学
履修の要件	サテライトキャンパスで実施する6回分の研修・講義及び福井大学での講義に出席できること。
必要な事前・事後学習	事前・事後学習については各担当者が講義時に指示する。
その他・注意事項	この授業の一部は「授業内容」欄に示す通り, 通常は福井大学で木曜1限目(8:45～)授業を行い, ※印の日程について福井駅東側のAOSSA内のFスクエア等で土曜午後開講するので, 予定を確認の上, 履修登録を行うこと。